

(4) 工事における社会的コストの低減
IV②工事における環境改善

ISO14001に基づく環境派道路を目指して

中部地方整備局名古屋国道工事事務所

白鳥舗裝修繕工事

【施策の概要】

ISO14001、環境マネジメントシステム（EMS）の公共事業への導入効果・課題の把握のため、モデル工事として舗裝修繕工事に「環境方針」「環境目的」などを定めて運用を行った。環境方針としては、

1. 建設副産物の再利用を行う
2. 廃棄物を減らし、資源を守る。
3. 環境美化活動や地域住民とのコミュニケーションを進める。
4. 省エネルギーを推進し、有害物質の発生を抑制する。

以上について、それぞれの組織が環境保全や改善に関する取組の方向性（環境方針）を具体的に実施するための計画立案を行い、実施運用にあたっては、実務に内容の適切性を点検・是正及び一連の流れを継続的にチェックし、改善していくことを目的に行った。

【施策のポイント】

・建設副産物のリサイクル推進

再資源利用（促進）計画書を作成し、計画に基づく実施、実施状況のモニタリングを行い、建設発生土・CoAs塊については、再利用率が100%となった。

・排気ガス（CO₂等）発生量の低減

アイドリング・ストップ促進計画書に基づき、オペレーター等への指導及び教育を行い、従来に比べてアイドリング・ストップが飛躍的（80%）に向上した。

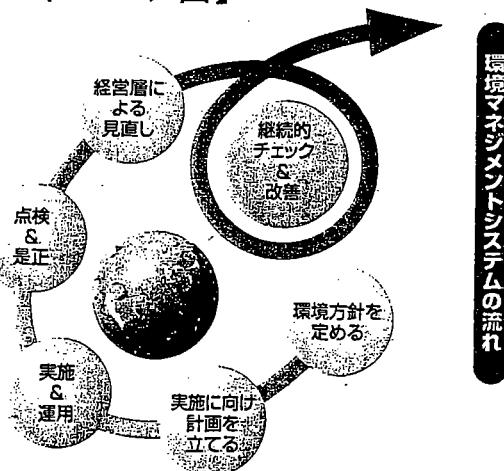
・地域とのコミュニケーション

工事広告のチラシやアンケート調査、ホームページの開設を行い、工事情報の公開や周囲からの反応を現場に反映させた。また、現場事務所においてもゴミの分別回収や、再生紙の利用・電気の節電等環境に優しい配慮を行った。

・騒音・振動対策の実施

騒音・振動対策車を導入し、機械の適正な運転方法の教育等及び騒音・振動測定を行い環境基準を大きく下回った。

【施策の実施状況・イメージ図】



- 上記に加え、全国12工事事務所において、環境の国際基準であるISO14001のモデル工事を実施しています。